

「民族共生の象徴となる空間」における博物館基本構想(平成25年8月)を具体化するため、平成25年11月より「民族共生の象徴となる空間における博物館の整備・運営に関する調査検討委員会(座長:佐々木利和北海道大学客員教授)」において、展示・調査研究、施設整備、管理運営など、多岐にわたり検討を重ねてきた。この度、約1年半にわたる検討結果を踏まえ、博物館の整備・運営に関する方向性及び内容を報告書として取りまとめた。

1. 博物館の理念

先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展に寄与する。

2. 博物館の目的

- ◎アイヌの歴史・文化・精神世界等に関する正しい知識を提供し、理解を促進する博物館
- ◎アイヌの歴史・文化に関する十分な知識を持つ次世代の博物館専門家を育成する博物館
- ◎アイヌの歴史・文化に関する調査と研究を行う博物館
- ◎アイヌの歴史・文化等を展示する博物館等をつなぐ情報ネットワーク拠点となる博物館

3. 博物館の基本的な業務

博物館の目的を果たすため、①展示、②教育・普及、③調査・研究、④博物館人材育成、⑤収集・保存・管理の5つの基本的な業務を行う。

4. 教育普及・調査研究

- ◆教育普及はアイヌの歴史や文化等の理解促進のために重要な業務として推進。
- ◆調査研究は博物館の専門家がアイヌ文化の伝承者や実践者と協力し、また他の研究機関と連携しながら推進するとともに、結果は展示等で公開。

5. 博物館の組織・運営・人材育成

- ◆「将来にわたり成長しつづける博物館」をめざす。
 - ・アイヌの人々が参画できる体制を構築。
 - ・象徴空間内の他の機能と一体的な管理運営を検討。
- ◆継続的に次世代の博物館の専門家を育成し、必要な技能や知識の向上、蓄積を図る。

6. 博物館のネットワーク・広報

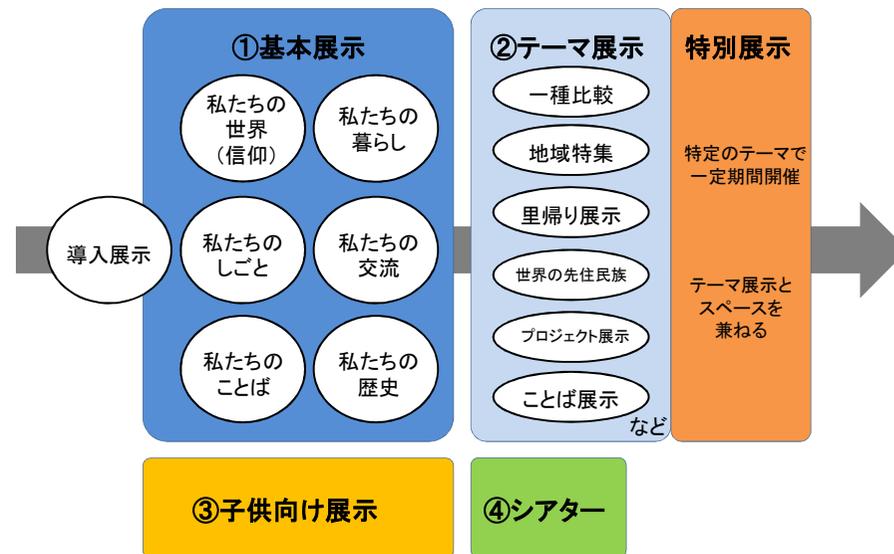
- ◆博物館の活動やアイヌの歴史・文化等に関する情報等を発信し、受け取る人々興味や関心を促し、理解や共感につなげる重要な活動として広報活動を持続的に展開。
- ◆アイヌの歴史や文化等に関する情報の結合点の役割を果たし、ネットワークによる活動の拡大や交流とコミュニケーションを重視する開かれた博物館をめざす。

7. 展示・収集・保存・管理

(1) 展示

最新の情報を公開できる可変的な展示とし、ともに考え、ともに育つ、未来へつながる展示、歴史と現代の時間の流れを伝える展示をめざす。

- ①総合展示室・・・「基本展示室」「子供向け展示室」「シアター」「テーマ展示室」から構成
- ②特別展示室・・・各種の企画に柔軟に対応することができ、テーマ展示室と一体となった利用が可能



(2) 収集・保存・管理

資料は国内外から計画的かつ継続的に収集し、分類・整理し、適切な保存環境で保存する。

今後のスケジュール

- 平成27年 博物館基本計画の策定
- 平成27、28年 博物館・展示の設計
- 平成28年～平成31年 建設工事(展示工事)
- 平成32年 開館予定